

平成 23 年 12 月 20 日  
神戸村野工業高等学校  
2 学年主任  
黒厚子 満

## 株式会社神戸製鋼所 神戸製鉄所 の工場見学について

1. 日 時：平成 23 年 12 月 16 日（金）13:30～15:30
2. 参加人数：2 年生 67 名（各クラス希望者のみ）
3. スケジュール

場所	時間	内容	担当者
会議室	13:30～14:00	挨拶 工場概要説明	石川室長 野馬係長
工場見学	14:00～15:10	第七線材工場→神鋼神戸発電所 (発電所：タービン棟・運転室)	大社係員 笹山係員
会議室	15:10～15:30	質疑応答	赤松係員

### 4. 感想

生徒たちにとって、この度の工場見学はとても有意義なものになったと思います。  
まず初めに、総務課 野馬さんからの工場の概要及び DVD による工場の紹介で、学校内では余り覇気の無い生徒も真剣な眼差しと姿勢で見えており、日頃我々の前では見せない姿で、とても感心しました。30 分程の説明後に、「第七線材工場」と「神鋼神戸発電所」を見学。  
「第七線材工場」ではビレット（鋼塊）を各種圧延機を通して、直径 10mm 線材になる場面を見せていただき、機械科では 1 年生の「機械工作」の授業では習ってはいたものの、実際に目の当たりにしたときは、生徒はとても驚いていました。次に「神鋼神戸発電所」では沿革とタービンの概要について説明をしていただき、電気科の 2 年生は、現在電力技術や実習を通じて発電について学んでいるところです。しかし、学校での教科書や実習のイメージと異なり、実際に関西電力で行っている火力発電のタービンや発電機と同じ規模の物が 2 機設置されており、総出力が 140 万 kW と大型であり地域のエネルギー供給として役立っている石炭火力発電であることを聞き、限りある資源の大切さを学びました。また、情報技術科・機械電子科・普通科も同様に日頃見る事無いことに驚いていました。質疑応答では、「資格取得について」や「採用試験」について質問し、丁寧且つ的確に返答していただき、生徒たちは来年の採用試験に向けてとても参考になったと思います。

今回工場見学したことによって、働く大切さや責任の大きさなどが今後の就職や将来にいい影響を与えることができたと感じました。機会があれば今後も継続し見学をさせたいと思いました。